

【普通科】3年次 選択科目「英語表現Ⅱ」 授業のシラバス

1 概要

教科名	外国語	科目名	英語表現Ⅱ	単位数(コマ数)	3単位(105コマ)
科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。				
教科書(出版社)	NEW FAVORITE English Expression II (東京書籍)	副教材(出版社)	(なし)		

2 学習の方法

(1) 予習について

教科書の内容を元にして授業を進めていきます。予習として、単元の文法項目をチェックするなど事前に取り組んでください。2年次の「コミュニケーション英語Ⅱ」で学習した内容も出てきますので、予習というよりは復習を兼ねたものになります。3年次で新しく学習する内容も、もちろん、予習をしてから授業に臨むようにしてください。

(2) 授業について

英語表現Ⅱの授業では、特に英語の2技能(話すこと・書くこと)について、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばします。教科書の内容が中心となりますが、人の意見や考えを聞いたり、あるいは自分の考えを英語で発信したりするような活動もありますので、授業への積極的な参加が求められます。

(3) 復習について

どの科目についても言えることではありますが、毎回の授業で学習した内容をその日の内に振り返ってください。それでもわからない場合はそのままにせず、教科担任(あるいは外国語科の先生方)に積極的に質問をし、必ず次のステップへ進むための準備を怠らないようにしてください。

〈学習アドバイス〉

英語は「実技教科」です。赤ちゃんが言葉を覚えることができるのは、その言葉を日常的に聞いて音を覚え、わからないなりに声に出して自分の意思を伝えようとすることを繰り返すからです。英語の学習方法には様々なものがありますが、コミュニケーション英語Ⅲでは、「インプットしたもの(学習した知識)を必ずアウトプットする(声や文字にして相手に伝える)」ことに重点をおいて、授業を進行させます。ですから、授業内で中心となる「書く」活動や「話す」活動に積極的に取り組むことで、みなさんの英語力は必ず向上します。間違ふことや恥ずかしいと思う気持ちを捨てて、仲間や先生方と楽しく英語を学習しましょう。

加えて、英語はもはや暗記教科ではありません。英単語には「イメージ」があります。意味を丸暗記するというよりは、イメージから意味を想像できるようになると、後に応用力が育まれ、幅広いレベルの英語に対応できる力を身につけることができます。まずは、あなた自身の英語の学習方法から見直してみたいはいかがですか？

3 評価について

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
① コミュニケーションへの関心・意欲・態度	積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ることができる。
② 外国語の表現	話したり書いたりして、情報や考えを適切に伝えることができる。
③ 外国語の理解	聞いたり読んだりして、情報や考えを的確に理解することができる。
④ 言語や文化への知識・理解	言語やその運用についての知識を身につけ、背景にある文化を理解することができる。

(2) 評価の方法(以下観点①～④は「(1) 評価の観点」と対応する)

評価材料		定期考査・確認テスト 実力テスト		Attitude	Performance Test	Individual Work	Pair Work
観 点	割合						
① コミュニケーションへの関心・意欲・態度	25%	×	定期考査ではなく、授業内での取り組み、課題の提出状況で評価をします。	○	○	○	○
② 外国語の表現	25%	○	自分の意見や考えを、「話すこと」と「書くこと」を通して、相手に的確に伝えることができる。		○	○	○
③ 外国語の理解	25%	○	英文法を理解することを通じて、相手の考えや意思を、適切に理解することができる。		○	○	○
④ 言語や文化への知識・理解	25%	○	英語が持つ言語的性質を理解し、英作文や英会話の際に適切に運用することができる。		○	○	○

〈担当者からのメッセージ〉

- ・授業中、学習内容と関係のない私語は厳禁です。
- ・定期考査は、授業で学習した内容から幅広く出題します。
- ・課題が出された際には、提出期限をしっかりと守ってください。
- ・授業で使用する教材を忘れてきた者は、授業が始まる前に教科担任に申し出てください。

【普通科】３年次 選択科目「英語表現Ⅱ」 授業のシラバス

４ 授業計画

月	単元	時数	学習内容	観点別評価	到達目標	考查等
前期						
4	Lesson 1 School Uniforms	5	●制服の是非について話し合おう	①②③④	学校生活における制服に賛成〔反対〕する理由を挙げることができる（未来の表現・副詞節）。	
5	Lesson 2 Online Addiction	5	●オンラインゲームの危険性について意見を述べよう	①②③④	オンラインゲームの問題点について、話し合うことができる（助動詞等）。	
	Lesson 3 Using the Internet	5	●インターネットの利用法について話し合おう	①②③④	宿題のレポートにインターネットを使うことについて話し合うことができる（不定詞）。	
6	Lesson 4 Specialization in Sports	5	●興味のある話題について発表しよう	①②③④	最近読んだ雑誌などの記事について、自分の意見を持ち、それを発表することができる（動名詞）。	
	Lesson 5 Writing a Diary in English	5	●英語で日記を書こう	①②③④	1日の出来事を振り返り、英語で日記を書くことができる（やや高度な分詞表現や、慣用的な分詞表現）。	
7	Lesson 6 My Future Career	5	●将来の夢、就きたい職業について話そう	①②③④	将来就きたい職業とその理由を発表することができる（同等比較や比較級）。	実用英検①
	Lesson 7 Pets	5	●ペットについて話そう	①②③④	調査結果などをもとに、ペットを飼うことについて話し合うことができる（受け身を含む表現）。	前期中間考査
8	Lesson 8 A Little Escape	5	●行ってみたい場所について話そう	①②③④	行ってみたい場所について、積極的に話し合うことができる（関係代名詞 what や複合関係詞）。	GTEC 検定版①
	Lesson 9 Good Fortune	5	●もしもの話をしよう	①②③④	想像力を働かせて、現実にはありえないような状況の話をすることができる（仮定法のさまざまな定型表現）。	
9	Lesson 10 Barrier-Free Society	5	●バリアフリー社会に向けて提言しよう	①②③④	バリアフリーな地域づくりを企画し、問題点と解決策を示しながら提案することができる（様々な仮定法を用いた表現）。	
後期	Lesson 11 Food Self-Sufficiency	5	●食料自給率について考えよう	①②③④	自分の意見を賛成、反対を明確にして表現することができる（直接話法と間接話法の違い）。	
10	Lesson 12 Japanese Longevity	5	●長寿社会について考えよう	①②③④	日本人の寿命を脅かす原因の1つである肥満について話し合うことができる（無生物主語構文）。	GTEC 検定版②
	Lesson 13 Why Don't You Visit Japan?	5	●日本を訪問するとよい理由を説明する	①②③④	外国人に日本のことを薦めるにあたり、相手にわかりやすいように工夫して紹介することができる（英文のパラグラフ構成）。	前期期末考査
	Lesson 14 A Lucky Day	5	●幸運だった1日を振り返る	①②③④	自分の1日を振り返り、その状況を人に伝えるように発表することができる（時間軸の構成の理解）。	
11	Lesson 15 Visiting Australia	5	●オーストラリアを訪問するとよい理由を説明する	①②③④	人に薦めたい場所について、相手にわかりやすいように工夫して紹介することができる（結論→理由の構成）。	実用英検②
	Lesson 16 Pros and Cons of Traveling Abroad	5	●海外旅行の長所と短所を述べる	①②③④	物事の長所と短所を述べる方法について学び、自分の意見を人に伝えるように発表することができる。	
	Lesson 17 Proposing a New School Uniform	5	●今の制服には問題があるので、新しいものにするのを提案する	①②③④	問題を提起・指摘し、その解決策を提案することができる。	
12	Lesson 18 Let's Cook Our Meals	5	●時には自分で料理するべきだと提案する	①②③④	問題を提起・指摘し、その解決策を提案することができる。	後期中間考査
1	Lesson 19 Welcome to Osaka	5	●シンガポールから来日した高校生を歓迎するスピーチ	①②③④	聴衆を意識し、伝えたいポイントを強調しながらスピーチをすることができる。	GTEC 検定版③
	Lesson 20 Fly to the U.K.	10	●もし2週間海外に行けるとしたらどの国に行くべきか	①②③④	聴衆を意識し、伝えたいポイントを強調しながらプレゼンテーションの原稿を作成することができる。	
	Debate Lesson 1-3					実用英検③
2		計				
3		105				

※ 観点別評価①は「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」、②は「外国語の表現」、③は「外国語の理解」、④は「言語や文化への知識・理解」を表しています。

※ 授業計画は進度により前後することがあります。